

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	特別養護老人ホーム 愛の園	定員	56名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人ぶどうの枝福祉会	開設	平成5年5月1日
所在地	〒654-0121 神戸市須磨区妙法寺字野路山1053	TEL	078-741-8750
交通アクセス	神戸市営地下鉄妙法寺駅から神戸市バス87系統「緑ヶ丘2丁目」下車徒歩5分	URL	http://ainosono.jp/

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業				
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 短期入所生活介護 通所介護 訪問介護 居宅介護支援 福祉用具貸与 ケアハウス 他				
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)				
●介護・看護職員1名に対する入所者	2.4	名		
●介護・看護職員平均勤続年数	6.5	年		
●介護・看護職員平均年齢	42.1	歳		
●人材確保と育成の方針				
専門職としての知識・技術のみならず、人間力向上を目指します。 ものの見方・考え方が変わると職員が変わります。 職員が変わると利用者が変わります。 利用者が変わると施設が変わります。 そして、その施設の在り方が人を育てます。 このサイクルを新人研修、リーダー研修、介護塾等の研修そして実習生への積極的な指導を通して育みます。				
3 施設の方針・理念				
法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい」のもと、5つの行動指針を掲げています。 ①私たちは、神様から与えられた命と尊厳を守ります。 ②私たちは、地域の人々に喜びを持って仕え、在宅生活を支えます。 ③私たちは、職員が一致して愛に根ざした地域一番のサービスを提供します。 ④私たちは、「素直、プラス発想、勉強好き」な人間になります。 ⑤私たちは、五つの心で、笑顔の挨拶をします。 その上で、今年度の施設方針を「個人と組織の長所伸展により、地域一番のサービスを提供する。」としています。				
4 施設の特徴				
キリストの精神をもとに「させていただく」という気持ちを大切に一人一人に関わっています。 施設は須磨の高台に位置し、広く開放された屋上では景色を見ながら散歩、運動、おやつを楽しむことができます。				
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ				
【実習生】 介護福祉実習、ワークキャンプ、介護等体験(教職課程)、地域理学療法演習を中心に、積極的に受け入れ、指導しています。 【ボランティア】 各行事の催し依頼、夏祭りでの学生ボランティアが主です。				
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)				
夏祭りは地域に開放し、たくさんの子供連れが参加します。 地域福祉センターで介護講座を年3~4回実施しています。 ふれあいのまちづくり協議会主催の行事に参加しています。 自治会夏祭りのお手伝いをしています。				
7 居室形態				
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型		<input type="checkbox"/> 個室ユニット型	
●料金	居住費	多床室:500円 個室:1,500円	食費	1,500円
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)				
家族会は年1回開催です。 年5回開催される施設行事では家族も招待し、一緒に参加していただいています。				

■サービス提供体制

入所条件	神戸市特別養護老人ホーム入所指針に基づいて毎月入所判定委員会を開催し、入所判定を行っています。
施設内自由度	各階共に階段、施設外に通じるドアには電子錠で施錠していますが、エレベーターは使用自由です。外出、外泊もご家族からの要望にて自由にいただいています。施設内禁煙です。
居室の環境	個室は少なく、トイレ、鍵の設置はありません。 ほとんどが多床室で、間仕切りはカーテンです。 多床室の出入り口にトイレ設置があります。
外出などの自由	希望があれば、外出、外泊共に可能です。
身体拘束・虐待防止対策	月に1回、身体拘束廃止の勉強会を実施しています。 緊急やむを得ない場合のみ、ご家族承諾のもと方法、期間を書面にて明確にして実施、記録を行います。 虐待防止は年に1回以上研修を実施しています。
食事	一人一人の嗜好、状態等に合わせて細かく提供しています。 ソフト食にも力を入れており、ニュートリー株式会社主催「嚥下食」レシピコンテストで全国主菜部門レシピ大賞をいただきました。
入浴	個室、機械浴にて提供しています。基本は週2回ですが、状況に応じて臨機応変に対応しています。
排泄ケア	一人一人の状態に応じたケアを提供しています。 なるべくトイレで排泄できるようにしています。
医療体制	2名の嘱託医に加え、精神科、泌尿器科、歯科の往診があります。
ターミナルケアの実施	<input checked="" type="checkbox"/> 積極的に行う <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない 以前から施設での看取りを積極的に実施しています。希望者には施設内にて葬儀や「お別れの会」も実施しています。 H25年度は10人中7人を施設で看取りました。
認知症ケア	少しでもストレスなく、なるべく自由に過ごしていただいています。 施設内に認知症ケア専門士が5名在籍しています。
アクティビティ	理学療法士による個別および集団でのリハビリを実施しています。 その他週2~3回エアロビテーション、月1回の料理レク、外出等実施しています。

特別養護老人ホーム 愛の園

総合評価

- ◎ 施設内は壁面の掲示物等にも工夫が凝らされており、施設全体の雰囲気は明るい。また利用者や外部からの訪問者に対する職員の対応もきびきびと明るく礼儀正しい。利用者の嗜好や趣味に応じた余暇活動が提供され、利用者個々人に応じた適切な食事が提供されている。予め設定された時間外でも必要に応じて入浴を実施する等、利用者本位のケアに取り組んでおり利用者の満足度は高い。
- ◎ 管理者は定期的を実施する会議等での職員の意見の聞き取りのほか、必要に応じて職員との個別面談の機会を設ける等の工夫をしており、管理者と職員間のコミュニケーションは良好である。職員は、これらの機会を通じて事業所の理念をよく理解し、それが利用者本位のケアに活かされている。
- ◎ 今後は現在実施している感染症予防や褥瘡予防等の各種の実践のデータを蓄積するとともに、それらの実践をホームページや機関紙、研修会等により外部に向けて積極的に発言していく事が望まれる。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 食事は施設内調理で、利用者個々人の嗜好や嚥下状態等にあわせた形態の食事が提供されている。なかでもソフト食は元の食材の形と味に出来るだけ近い形で提供されており、ソフト食コンクールで優勝した実績をもっている。食事を取る場所や雰囲気にも工夫がなされ、家庭的な雰囲気で落ち着いて食事出来る様に、5~6名のグループ分けでグループ毎に食事を取る様になっている。
- ◎ 各医療機関との連携の他にも、管理者は外部の各専門機関との連携に努めており、それが施設内でのケアの質の向上に反映されている。また、施設が主催する催しへの住民参加や、地域の夏祭りに職員が参加する等により、地域住民と施設職員相互の交流がある。それらの交流が住民と職員が合同で実施する各種の防災訓練へと繋がっている。
- ◎ 施設内の設備を活用し、地域住民向けの介護講座などを定期的を開催するなど、地域の介護力向上の為に支援をし、地域への貢献をしている。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 今後は職員採用・育成に関して体制を整えることが望まれる。
- ◎ また、ボランティアの受入れ体制の整備が望まれる。
- ◎ 実施している事項についての記録の不備がいくつかあったので、今後はそれらの記録の整備が望まれる。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 特別養護老人ホーム 愛の園 記入者 施設長

当施設の見解

- ① 今回の外部評価において、施設全体の雰囲気や職員の対応や、介護に対する利用者満足度が高かったことについて、現場の職員に感謝するとともに、この結果に満足することなく、より一層の努力を払っていきたいと思っております。
- ② また、愛の園が特に力を入れている食事については、調査員の方々に実際を見ていただき、試食頂いての評価であり、現場の職員にとって大きな励みになりました。
- ③ 職員採用につきましては、計画通りには進んでおらず、採用・育成に関して組織的な体制をとる必要があるとの指摘を受けました。愛の園としましても、職員の補充と育成、ボランティアの受け入れ体制の整備は、サービス向上や職員定着の上からも、喫緊の課題と位置づけており、具体的な対応を考えていきます。
- ④ 現在、地域行事への参加や、定期的な介護講座の開催を通じて、地域の介護力向上の支援を行っていますが、愛の園として、さらにホームページやブログを通じて積極的に、地域へ情報発信をしていきたいと思っております。